

【家庭科 研究構想図】

【学校教育目標】 自ら考え、判断し、心豊かに行動できる子どもの育成

【研究主題】
主体的に学ぶ子どもの育成
～ 学習形態を工夫した「学び合い」学習の実施 ～

【研究仮説】
課題解決的な学習を通して、言語活動を充実させた授業を展開すれば、自ら課題を解決し、自分の考えを表現する力を育成することができるであろうと考える。



【検証の視点】

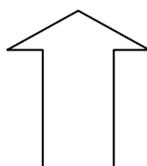
課題解決や学び合いを深めるための言語活動が効果的に行われた授業であったか

【研究内容】

- ・ 根拠に基づいて思考・判断させ、学び合う場面を仕組む。
- ・ 考えた過程が分かるノート・ワークシート作り
- ・ ペアトーク、グループトーク等、効果的な協同的学習を仕組む。

【検証の方法】

- ・ 課題に対して自分の考えとその根拠を持つことができた児童を80%以上にする。
(発言、ノート等、自己評価)
- ・ 授業での学びが、学校・家庭・地域で実践・行動化が見られた児童を80%以上にする。
(発言、ノート等、行動観察)



「福山100NEN教育」

「自ら考え学ぶ授業」の推進 「学びが面白い」

湯田小 21世紀型スキル&倫理観

1 課題発見・課題解決 2 コミュニケーション力 3 人としての思いやり

特別支援教育の視点

授業のユニバーサルデザイン

疑問「なぜ? どうして?」
納得「そうか! なるほど!」
達成「すごい! できた!」